


<b>タイトル</b>	包括的なグローバル化の促進方法に関する研究: この目標を追求し、いわゆる「Programmatic Research」(体系的な研究)として、以下の関連研究を並行的に進めて、日本のグローバル化を促進/加速する方法を開発する。		
<b>分野</b>	<b>キーワード</b>	①マーケティング戦略	②インターネット、SNS
<b>経営</b>			
研究者氏名: ジョセフ・ガブリエラ (所属: 経営学部企業法学科)	[お問い合わせ先] TEL: 03-3945-7356 メールアドレス: jjapan1802@yahoo.co.jp		

【概要】本学の講師になる前に、10年以上、産業をまたがる複数の企業で、上級管理職の経験を積んだ結果、日本でグローバル化を促進するために、次の要素が必要不可欠だと分かりました。

異文化コミュニケーション力; 2. 規制緩和、革新; 3. イノベーションを創造し、商業化する能力

**【研究内容】**

1 異文化コミュニケーションに関する研究

① 1分程度手短な自己アピールから営業用のプレゼンテーションや記者とのインタビューまで、英語による異文化コミュニケーションの原則を解説する以下の書籍を出版しました。

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4905006058/naoyadyndnsor-22/ref=nosim/>

② 語彙の知識と TOEIC の点数の関係を明確にするために、法学部の 1 年生の試験点数に基づき、量的分析【相関関係、解析など】を行っています。予備的な検証の結果は、二つの間の強い関係を示唆します。秋学期は、同じ試験を同学生に実施することで、結果を検証する予定です。

2 規制緩和、革新に関する研究 世界の規制緩和、革新を研究し、日本で採用する価値のあるものを解析し、紹介しています。これまでに、海外における次のような実験中の革新的な手法を研究しました。

① 「米国のソーシャルインパクト債 (SIB) 導入に関する一考察」- 研究誌『会計検査研究』(48 号 25 年 9 月号 掲載予定)

② 「アマゾン・タックス」と呼ばれる米国オンライン消費税の研究

3 イノベーションの創造、商業化に関する研究

① 起業家の特徴と教育が、いかに企業活動に影響をしているかの全体像を描くために、今年の夏は、日本、中国、米国でインタビュー研究を行う予定です。

インターネットに基づいた技術を中心にイノベーションの活用で成果を生み出している企業の事例研究を行います。最初の研究成果として、米大手アパレルメーカーの『ヴィクトリアズ・シークレット』の SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)戦略に関する書籍を今年の秋に発行予定。

**【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】**

1 異文化コミュニケーションに関する研究 これまでの研究成果に基づき、「語彙の習得」のより効果的な方法を開発し、短時間で TOEIC 点数を引き上げる手法を開発します。

2 規制緩和、革新に関する研究 上記の2つの研究報告では、政府も民間企業も検討すべき課題を紹介し、提案を提示します。

3.イノベーションの創造、商業化に関する研究

SNSの採用が遅れている日本企業に対して、その活かし方についての研修やコンサルティングを行っています。実際に、「SNSの戦略管理」も行う予定です。